



アイズ

アイズ第17号(2017.12)
 住所：倉吉市天神町233-1
 TEL・FAX 0858-26-0230
 E-mail fujiitakahiro@hb.tp1.jp
 http://me25kani6sakurane.jp/www/

藤井たかひろ [アイズ] 目線合図・相図愛ず 発行倉吉市議会議員 藤井隆弘 討議資料

二期目スタート
 12月議会終了

日頃より議会活動にご理解ご協力ありがとうございます。
 藤井たかひろは、**○現場主義○情報公開○柔軟な思考○選択と集中○ブレない政治**を基本姿勢とし、「震災からの復旧・復興、子育て・教育のまちづくり、安心・安全なまちづくり、元気なまちづくり、魅力あふれるまちづくり、開かれた市政」からなる「くらしよし倉吉スカイアッププラン」(すみつづけたい、かえりたい、いってみたいまち倉吉の実現)に全力で取り組みます。今号では12月定例会と県外視察等を中心に報告します。

議員活動日誌(平成29年10月~12月)

10/3 倉吉博物館復興記念展	11/13 会派市内視察
7 倉吉市表彰式、倉吉女子駅伝開会式	17 議員懇談会
13 倉吉市戦没者慰霊祭	28 倉吉市商工会議所との懇談会
20 議会だより「白壁」3号最終校正	12/1 中部ふるさと広域連合臨時議会
23・25 議会臨時会、全員協議会	4~18 12月定例議会
30 県内4市議会議員研修会	19~21 会派県外視察(東京、埼玉、神奈川)
11/9 倉吉市社会福祉大会	22 鳥取中部ふるさと広域連合定例議会

視察報告

- (1) 東京都千代田区 12/19 「要望活動」
鳥取県中部地震からの復旧復興にかかる支援について鳥取県選出4国会議員、石破茂氏、赤沢亮正氏、舞立昇治氏、青木一彦氏の事務所を訪問、要望活動を行う。
- (2) 埼玉県飯能市 12/20 「タブレット端末導入」
- (3) 神奈川県寒川町 12/21(木) 「タブレット端末導入」



議会改革・行政改革にもつなげるタブレット端末導入について、先進地の飯能市・寒川町を訪問。いずれもタブレットを使った説明で、議員を中心とした対応であった。様々なメリットを実感、実際に議員がふれてみることは必要。

- (4) 東京都台東区 12/20 「アート・コミュニケーション事業」
教育普及活動に加え、社会課題を視野に入れたソーシャルプロジェクトへの取組を展開するアート・コミュニケーション事業について視察。鳥取県立美術館開館に向けての美術館のあり方に関わって参考となる事例であった。



12月議会報告 * 詳細は、市ホームページ等でご覧下さい。

一般質問(主な内容)	答弁及び今後の対応(主なもの)
<p>震災からの復旧・復興 ○振り返りのまとめはどうなっているか。また、来年度の防災訓練等はどうなっているか。</p> <p>子育て・教育のまちづくり ①学校教育(ハード面の整備)</p>	<p>○プロジェクトチームを作り、記録誌を作成中である。内容を詰めていき、引き続き訓練を実施する。</p>

・4年間でトイレの洋式化、校庭整備（河北中）間仕切り（関金、河北小）等が改善した
 今後は空調整備、校庭改修（西中、上北条小等）が必要だと考えるがどうか。



②学校教育（ソフト面の整備）

・子どもたちの実態について
 ○知育・徳育・体育のそれぞれの面でのデータを見てみると、学力・徳育の面ではあまりよくない。体育面では普通という結果だと思うが教育長はどう考えているか。

・学校再編に関連して

○県内の状況を見ると、八頭郡や日野郡等学校再編が進み、境港市や三朝町でも学校再編に向けた動きがある。倉吉市では1校当たりの少人数化が進んでいる。複式学級への対応等も考えたい。昨日分校方式ということもあった。教育長は学校再編についてどう考えているか。



・教育の倉吉モデルについて

学校教育審議会、教育委員会での取組を

- 1 教職員のさらなる指導力アップ
- 2 教育研究会と連携（学力・生徒指導）
- 3 長期休暇等のあり方の研究
- 4 隣接区選択など校区に関する検討
- 5 教職員の多忙化改善
- 6 1～5と学校再編との関連を検証

・これまでの質問や答弁を聞いて、教育総合会議を主催する市長の学校教育に関する見解をお聞きする。

○震災からの復旧・復興を第1とし、**空調の整備、グラウンド整備、ICTの充実に努めたい。財政状況を見ながら、国の交付金の活用なども考えたい。**

○NRTはよいが、全国学力調査や診断テストはあまりよくない。不登校は多い状況である。体力テストでは平均的。学力面や生徒指導面では、日々の授業の充実、各種研究会との連携、家庭教育の充実を図って改善のための努力をしているところである。

○どのような環境で学ぶのがよいか、最終的には各地域の意見を聞きながら進めていくことが大切。再編が必要ということとは理解いただけたと思う。

分校の案について、例えば、参観日で兄弟がある場合など学校運営はとても難しい。

三朝町では進行中だが、他の郡部の方では対応をしてきている。**対応は全国的な課題であり、正面から向き合い話し合う必要がある。**

○どれをとっても考えていくのは学校教育審議会の大きな課題である。指導力のアップは重要課題である。教育関連団体との連携、特に市初研は大切。中学校区という視点は面白い。校区に関わっての検討は、学校再編とも関わってくる。

○一喜一憂する必要がないが、実態把握をしていきたい。学校再編は協議会の場で意見を出していただき、方策が出来ればと思う。子どもたちが倉吉に誇りを持つようになるための支援は惜しまない。

議案質疑(主な内容)	答弁及び今後の対応(主なもの)
○保育士等の処遇改善加算Ⅱとはどのようなことか。民間保育所やこども園の処遇改善だと思うが、公立保育所の処遇についてはどのようなになっているか。	●職責に応じて月額5千円から4万円アップすることになる。民間と公立とは処遇に対する考え方は異なるが、概ね公立の方が高くなっている。

編集後記

アイズ17号を発行することが出来ました。これからも「住みたい、帰りたい、行きたいまち倉吉の実現のため頑張っていきます。ご支援・ご指導よろしく願いいたします。**やる気！本気！勇気！**

